

令和6年1月31日

保護者様【家庭数配付】

印西市立本埜小学校  
校長 小田 英紀

### 令和5年度 学校評価に関するアンケート結果について

大寒の候、日頃より学校教育に対しご協力いただきありがとうございます。  
さて、過日、保護者の皆様からいただきました学校評価に関するアンケート結果をとりまとめましたのでお知らせします。児童にも同様の項目でアンケートをとりましたので、合わせてお知らせします。  
今後の学校運営の面で参考にさせていただき、より学校、家庭、地域が連携して教育活動を推進できるようにしてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

上段は保護者の割合  
( )は児童の割合

番号	評価項目(参考：保護者向け)	令和5年度 肯定的意見 (%)	令和4年度
1	あなたは、学校の教育方針や教育目標をご存じですか。	82 (78)	81 (80)
2	お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいると思いますか。	83 (91)	83 (90)
3	お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	79 (83)	81 (91)
4	お子さんは、家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。	88 (91)	88 (87)
5	お子さんは、友達を大切にしていると思いますか。	100 (94)	97 (95)
6	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。	89 (93)	81 (93)
7	お子さんは、健康に気を付けて生活していると思いますか。(食事、運動、睡眠等)	82 (86)	75 (86)
8	学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。	83 (85)	83 (86)
9	学校では、いじめがあったとき、すぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。	85 (85)	82 (89)
10	学習や生活で困ったことがあったとき、先生方はすぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。	86 (87)	84 (92)
11	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	91 (97)	88 (89)
12	学校の施設・設備は整っていると思いますか。	44 (81)	38 (87)
13	学校は、市や地域の環境・施設・人材を教育活動に活かしていると思いますか。	83 (82)	79 (72)

結果をふまえ、今後の取組等を次のページに掲載しています。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、通常の教育活動ができるようになってきました。しかし異常気象による熱中症対策や10月から流行し始めた感染症対策を行う中で、児童の活動を制限することもありました。

また年度内の教育課程変更もありましたが、子どもたちの前向きな姿勢、保護者、地域の方々のご協力に取り組めた一年でした。

(1) 学校教育目標について

教育目標を知っているという児童は78%、保護者は82%でした。昨年度より多くの保護者の方に知って頂くことができました。引き続き「学校だより」にて毎月掲載いたします。

(2) 学習面について

「授業が分かりやすい」と回答する児童が83%で昨年度より8%減少しました。この結果を真摯に受け止め、どの児童にもわかりやすい授業になるようにさらなる職員研修の充実、学習教材のわかりやすい提示の工夫、ICTの活用、読書活動の充実、個に応じた指導の充実を図るよう努力いたします。

絵画の県展では、学校として「奨励賞」を受賞しました。また、たくさんの児童が様々な分野で表彰されました。先生方の指導と子どもたちの努力が評価されました。

(3) 豊かな人間性について

「友達を大切にしている」「学校は心の教育に努めている」と回答する児童は、93%を超えました。また、「友だちを大切にしている」と回答する保護者は100%でした。ご家庭のおかげで、子どもたちは穏やかで、みんなで助け合い、相手を思いやる気持ちが育っています。学校では、道徳教育の充実、あいさつの大切さ、体の悪口、名前の悪口を言わない等、年間を通じて繰り返し話をしていきます。

(4) 健康・安全教育について

「健康に気をつけて生活している」児童は86%で、熱中症や感染症の予防に、ご家庭と学校で取り組んだ年になりました。学校行事には、ほぼ全員が参加して行うことができ、ご家庭のご協力に感謝しています。また、教室内の温度調節や換気、手指消毒、給食、授業中の感染対策等に気をつけました。

バスの乗り方については日々ご意見を頂いております。バスの乗り方の掲示物を作成し、バスに掲示したり、バスの座席を決め静かに過ごせるようにしたりと日々指導を行いました。また、職員やバスボランティアと一緒にバス乗車し安全面に気をつけました。

(5) 施設、整備について

「学校の施設、整備は整っていると思いますか」では44%というご意見をいただいています。昨年度より6%向上しましたが、井戸水については、子どもたちには不便をかけました。今年度中にはマンガン装置の設置も終了し、安全な水が提供できる予定です。施設や周辺環境の老朽化が進んでいますが、安全第一で点検をし、市に連絡をとりながら改善するよう努力しています。

老木の伐採、剪定。教室床、校舎内壁の修繕、保護者の皆様の協力による除草作業、校庭整備など、今後とも児童が安全、安心に気持ちよく生活できるように取り組んでいきます。

(6) ICT活用について

学習環境では、ICT化を進めています。クロームブックを活用した授業はもちろんのこと、新しいアプリを積極的に活用しました。また、英語や算数等の教師用デジタル教科書を日々の授業で活用することで「わかりやすい授業」に努めました。さらに職員の研鑽により、ロイロノートやゲーグルクラスルームを活用して、主体的、対話的な授業を可能にしていきました。学びの保障として、CANVAやオンライン授業を積極的に取り入れていきました。

## (7) 教育相談について

「学習や生活で困ったことがあったとき、先生方はすぐに話を聞いて対応してくれると思う」と回答した児童は85%でした。15%の児童は「話を聞いてもらえていない」と感じています。児童一人一人が安心して学校生活を送れるように、今まで以上に児童一人一人を見取り、声かけをし、相談しやすい環境をつくること。そして、きめ細やかな対応を行い、信頼を得られるよう努力していきます。

子どもへの教育は、学校、家庭、地域との連携と協働により成り立っています。今後とも、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。